

この留学 NEWSLETTER を通して
是非、留学している学生の生の声を
聞いてみてください！

留学後現地レポート第3弾！

今回の留学 NEWSLETTER では、2009 年度<後期> 出発学生の現地での感想等アンケートを行いました。

- ①留学してから今までで、一番大変だったこと、つらかったことは何ですか。
- ②そのつらい状況をどのように乗り越えましたか。
- ③ホームシックになりましたか。またホームシックになった場合、どう乗り越えましたか。
- ④留学してから今までで、一番良かったこと、楽しかったことは何ですか。
- ⑤留学前に書いた「目標」を今現在何%くらい実行・達成できていると思いますか。

- ①ご飯が合わなかったこと。
- ②日本人の友達に炊飯器をもらって自分でお米を炊きました。
- ③多分そこまでのホームシックはなかったことないと思います。
- ④いろいろな国の人と友達になってクラスが毎日楽しいこと。
- ⑤50くらいです。

- ①留学先のご飯にだんだん飽きてきて、日本食、アジア料理が恋しくなってしまうようになってしまいました。
- ②親に必要なものと一緒にちょっとしたインスタントのものを送ってもらったり、日本人でアパートで暮らしている人や、友達の家でアジア料理、日本食を作ったり、アジア料理屋に食べに行ったり、自分で工夫して学校のバイキングのサラダをアジアっぽくしたりして努力していました。
- ③なりました。
日本の友達と連絡を取ったり、両親と連絡を取ったり、ジムに行ったりして身体を動かして気を紛らわせたり、ピアノを弾いたり、こっちの友達といっぱい遊びに行く計画を立てたりしていました。
今 Homesick なので、なんていったらいいかわかりません笑
帰る日が近付くにつれて日本が恋しくなっています。。。
- ④日本では体験できない行事(ハロウィーン、Thanks Giving Day、)等を体験できたことです。日本とは違う文化、感覚、価値観に触れたことです。
- ⑤ルームメイトや学校の先生、授業や日常生活で英語を使わなければならないので目標は毎日実行できていると思います。目標は80%位達成できていると思います。

- ①言葉があまり通じないこと、聞き取りが難しいこと。
- ②話すときは、努力。聞き取る時は、全部を理解するのではなく、相手の言いたいことを、少しでも理解すればいいと思った。
- ③ホームシックはあまりなかった。あったとしても、たまに日本食が食べたくなる程度。その場合、お米と、お味噌汁は売っていたので、それでは済ます。
- ④休みの日に遠くへ旅行したこと。コミュニケーションの授業があったこと。
- ⑤50%くらい。

- ①やっぱり日本食が食べられなかったときですね！あとベッドの寝心地が悪いことです！
- ②日本人の日本食が作れる友達ができただけで、食事の面では何とかなりました！あとベッドは肩がこるので肩こりのとれる薬を飲んでなんとかしました！
- ③ホームシックはなったような、ならなかったような感じでしたけど、たまに日本が恋しくなります！やっぱり英語をがんばって友達を増やすしかないかと思っています！
- ④サウジアラビアの友達ができました！彼とはESLで一緒のレベルだったので同じ授業が多かったから仲良くなりました！
- ⑤実際20パーセントくらいだと思います！ギターを買ってギター友達にはできたものの、あまり会話が進まなくて、深い話ではできなくて少し悲しいおもいをしています！でもたまにセッションとかしてたのしいです！

- ①②正直、そういったことは今のところはないです。こちらに来たばかりの頃は不安でいっぱいでしたが、意外となんとかなると思いました。
- ③忙しすぎてホームシックになる暇もありません(笑)でも家族とほぼ毎日連絡をとっているんで、そのおかげで大丈夫なのかもしれません。
- ④やはりいろいろな国出身の友達が出来たことです！特に私は韓国人の友達と仲が良いです。
- ⑤私は「冬休みに自分で計画して旅行に行く」という目標を立てたので、友達と相談している最中でこれからなのですが、必ず100%達成できると思います(*^▽^*)



米国 カリフォルニア州立大学 Tさん提供

①今までで一番大変だったことはやはり人との会話です。人と1対1で話す時は自分が話さなければ話が進まないで、ゆっくり考えて喋っても相手の人も待ってくれるので良いのですが、何人かで話す時は大変です。なぜなら、人が多ければ多いほどどんどん話題は変わり、話すスピードも早くなるからです。たとえば、ネイティブの人何人かと話をしている、自分が話すのにどの単語を使うか考えて、文を頭で考えているうちに別の話題に進んでいるみたいな感じです。これは少しオーバーですが本当にネイティブの人と話すには語彙力と頭の柔軟性が大切だと感じました。

②この問題をどう乗り越えたかというのですが、実際まだ乗り越えていません、というよりもネイティブの人を超えるのは無理に近いことだと思います。なので私はとにかくネイティブの人に近づけるようにしようと努力しています。そこでしていることが完璧な文を話すのではなく、必要な言葉だけでも意味は通じるので前置詞などなくても通じることは、あまり細かく考えないようにしています。これだけのことでだいぶ変わると感じます。

③私は3年前の高校2年生の夏に一度留学に行っていたことがあるので、あまりホームシックにはならなかったのですが、やはり少しは日本のことを考えたりもしました。特に私は日本の大学でバレーボールのサークルに入っているのですが、オーストラリアはバレーボールがメジャーではないのでできず、ホームシックではなくバレーボールシックになったような気がします(笑)

④一番楽しかったことというのは選ぶことができません。オーストラリアでの体験は初めてのことがたくさんあり、すべて新鮮で面白いです。ですが特にというと、私はネイティブの人と関わりを増やすために毎週日曜日に教会に行っているのですが、そこでの人との交流はとても楽しいです。教会の人たちは皆フレンドリーで優しく、初めて行った時から仲良くしてくれて、今ではとても良い友達みたいです。

⑤目標はどれくらい達成できたかわかりませんが、目標に向かって努力するのみです(笑) またいろいろなことを知ればもっと上を目指したくなるので、目標は高く持っているといいと思います。

①学校から家までの道がなかなか覚えられなくて苦労した。

バスの停留所が分かりにくくて大変だった。

言いたいことがあるのに何て言って良いか分からなくて大変だった。

②ホストママに地図を描いてもらったり、休みの日に学校まで行って帰ってくる練習を何度もして覚えた。バスは乗るときに運転手さんに自分が降りる停留所に着いたら教えてくれるように頼んだ。

言葉は辞書を使って調べたり、ノートに書いたりして覚えた。

③ホームシックには1度もありませんでした。

④外国の友達がたくさんできた。友達と観光をいっぱいして楽しかった。

ナイトクラブに行って更にいろんな人と交流ができて英語の練習にも繋がって良かった。

⑤50%? 結局部活に入っていないので目標が達成できなかったです。でも最近は新聞が読めるようになったりTVで言っていることが聞き取れるようになった。

①夜中にむやみに遊びに行ったりできなくて、かなりストレスたまってつらい。インターネットが自分の家で使えない。

④外人の友達と冗談を言い合って爆笑したとき。国は違っても笑いのつぼとか一緒って感じて嬉しかった。

⑤なんとなく聞き取れるようにはなってきたかとは思いますが。あと強気になれたかも。アジアの強さに負けないで、むかつくことがあったらすぐに言い返せるようになった気がします。

①ファーストセッションは先生の言っていることがまったく分からず毎日の授業を聞き取るのが大変でした。

②前後のワードを参考にして一言一言確実に聞き取れるように集中しました。

③なりませんでした。

④ゴールドコーストで行われた野球の大会に参加し同年代のプレーヤーと試合を交わし交流しあえたことです。

⑤80パーセントくらいです。

①日本食が恋しくなること。

②日本食レストランに行く。

③一度もなっていません。

④ここで過ごす全ての時間に幸せを感じています。

⑤50%

③ホームシックにはなりませんでしたが。湯船シックや日本食シックは致命的です。考えようによっては、なくなって苦しむ、ということは何れでも自分がそれが必要だったか、ということの証明になります。慣れとは怖いものです、いつでも。

④リスニング能力が自分でわかるほど向上していること。すごい確率で出会ったクラスメートの、意見を知れたとき。

どうしても日本にいたときより行動は制限される。そのかわりにすごく自由な時間ができる。ということで、とてもゆっくりにしたいことに集中できる。

視野が驚く早さで広がっていくこと。

⑤毎日イタリア人の留学生と冗談言いあって笑っています。...100%? 笑でもそれだけが目標ではないので、毎日まちがっては笑い、ころんでは笑いをくり返しています。

※その他

「日本の常識は世界の非常識、世界の常識は日本の非常識。」

こんな言葉をひしひしと実感しています。

日本をばかにするわけじゃないけれど、日本人の視野は、狭い。頭は、固い。世間の目にとられすぎていていると思います。そしてこれはおれもかしかり。

世界は、広くて、おもしろくて、自由。ほんとうに自分がしたいと思う事をしてください。そして、ほんとうに大切なものや良いものを愛してください。



米国 ミシSSIPPI州立大学 Mさん提供

後期出発学生より、現地レポート！



オーストラリア フлиндर्स大学 I さん提供



オーストラリア フлиндर्स大学 F さん提供



米国 モンタナ大学 I さん提供



米国 ミシシッピ州立大学 M さん提供



オーストラリア マッカーリー大学 H さん提供



米国 ミシシッピ州立大学 M さん提供

ハロウィンでパンプキンカービングをしました！
初めての経験だったので楽しかったです。
米国 ミシシッピ州立大学 T さん

米国 ミシシッピ州立大学 M さん提供

土曜日は、ハロウィンだったので友達と
パーティーをしました。ハロウィンは、
日本では盛大に盛り上がりませんが、
現地の人は、仮装を着てハロウィンを祝い
ます。とても楽しい一時が過ごせました。
カナダ ヨーク大学 N さん

ハロウィン体験報告！

北米に留学中の学生から、ハロウ
インの様子が届きました！
ハロウィンコスチュームでのパーテ
ィや、パンプキンランタン作りは貴重
な体験だったようですね！



ハロウィン当日は先生が
家に招待してくれて、現地の
ハロウィンを体験することができ
ました！たくさん子供たちが仮装し
てきて可愛かったですよ！
その後はベッカムに仮装してパーティ
ーに行きました！！
楽しかったです！！
米国 ミシシッピ州立大学 Y さん



米国 モンタナ大学 H さん提供



米国 ミシシッピ州立大学 E さん提供



米国 ミシシッピ州立大学 M さん提供



2009 年度<前期>留学報告会

2009 年 10 月 9 日（金）に、2009 年度前期半期国外留学生の帰国後「留学報告会」を実施しました。留学中の体験を全員でシェアし、国や文化の違いやそれぞれの成長を知る良い機会となりました！

カナダとアメリカの国境！



カナダ ブリティッシュコロンビア大学 M さん提供



米国カリフォルニア州立大学サクラメント校 T さん提供



カナダ トロント大学 S さん提供



オーストラリア フлиндラーズ大学 I さん提供



米国 カリフォルニア州立大学サクラメント校 M さん提供



ニュージーランド マッセイ大学 Y さん提供



カナダ ヨーク大学 M さん提供

～帰国後アンケートより抜粋～

- * 向こうの大学の留学生は誰もが目標を持っていて意識の高さに驚きました。そんな姿に感化され、僕自身もただ滞在するのではなく、色々考えながら生活するようになりました。
- * 他国の友達ができただけで自分の英会話のスキルを向上させることが出来たと思う。また来年友達に会いに行きたい。
- * 今まで小さなことで落ち込んだり、つまらないことに腹を立てたりしていた自分が、大事なことで、そうでないことを上手く割り切れるようになったと思います。
- * クラスメイトは色々な国の人で、見た目、言語、考え方も違うため、初めは戸惑うと思いますが、その人達と話すことで、色々な価値観に触れることができ、学ぶことが多いと思います。
- * 母国語の通じない国で、慣れない文化の中で自分が行動しなければ何も始まらない世界の中に突然入り、どれだけ自分でできるのかが試されたと思う。
- * 今まで生きてきた中で造られてきた価値観を根底から覆され、日本には経験することの出来ない今後の自分の中で重要な要素となった。
- * アメリカに行ったけど、アメリカの文化だけでなく、クラスメイト達の国の文化も学ぶことができ、今まで全く自分とは関わりのなかったことに興味が湧き、それぞれの国の良さを教えてくれた友達に感謝です。そして留学へ行かせてくれた親へのありがたみが凄く感じる事ができました。
- * 留学は私にとって初めてだったので、何もかもが不安でしたが、実際行ってみると現地の人はとても優しく分からないことを教えてくれました。また留学は、楽しいことや辛いことなど、日本では経験できないことを経験させてくれました。
- * 留学は一生に一度できるかできないかという経験で、人生の「宝物」です。
- * 私にとって留学とは、様々な国の人々とコミュニケーションをとること。もっと日本について勉強していくべきだったと思います。
- * 初体験ばかりでした。様々なことにも挑戦し、本当に良い経験をする事ができました。
- * 英語力向上を第一として行っただけで、自分はそれよりも人間的に成長する事が出来たと思います。留学中は間違いなく「グレッグ」な自分がいたと思います。
- * 日本を客観視することができ、価値観、考え方、英語力全てが変わりました。



イギリス グロスター大学 K さん提供



カナダ トロント大学 S さん提供

次号では、2009 年度<通年・後期>留学報告会のレポート等を掲載する予定です。
お楽しみに！

明星大学 国際教育センター

〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1 23 号館 407 室

TEL: (042) 591-5176

FAX: (042) 591-5733

E メールアドレス: office@flc.meisei-u.ac.jp

Web サイト: http://www.meisei-u.ac.jp/

ご感想、ご意見、またはご要望などございましたら、E メールアドレスまでお寄せ下さい。

－編集後記－

今回の 2009 年度後期半期出発学生へのアンケートは 11 月中旬に実施しました。また、2009 年度前期半期出発学生の「留学報告会」では、それぞれの貴重な体験を垣間見ることができました。

留学を振り返り、留学中に辛いことを乗り越えたことで成長し、保護者の方々への感謝の気持ちを素直に語っていた学生達に感動しました。この「留学 NEWSLETTER」で、保護者の方々や、留学予定学生に、このような「感謝」をもっと伝えることができれば嬉しいです。
(国際教育センタースタッフ一同)